

福知山公立大学「北近畿地域連携センター」施設整備事業

(設計・施工)仕様書

1 目的

「北近畿地域連携センター」が地域の拠点となり、多くの人が集まる交流と共創の場として有効に利用されることを目的とし、施設整備を行う。

2 委託業務名

福知山公立大学「北近畿地域連携センター」施設整備事業(設計・施工)に関する業務

3 履行期間

契約締結日から平成28年10月28日(金)まで

4 予算額(委託料)

10,000千円(消費税及び地方消費税を含む。)

5 業務内容

- (1) 本工事に必要な官庁関係との協議
- (2) 各種申請・届出・検査、その他諸手続き等の一類一式
- (3) 北近畿地域連携センターの設計・改修工事
- (4) 上記工事に附帯する工事(提案による)
- (5) 完成図書の作成
- (6) その他これらを実施する上で必要な関連業務

6 改修整備方針

- (1) 北近畿地域の拠点として、多くの人が集まる創造的な交流の場となるよう改修を行う。
- (2) 地域連携機関にふさわしい独創的なアイデアを盛り込む。
- (3) 設計の過程においては、施設利用者や関係者のニーズやアイデアを活かすためにワークショップの開催など話し合いの場を設ける。
- (4) 出来るだけコストを削減するため、既存施設において改修後使用できるものについては最大限活用する。
- (5) 耐震性については基準を満たしているため、構造体はそのまま使用する。

7 改修施設概要

- ・計画地：福知山市字堀小字小谷3370-6 外
- ・延べ床面積：1,123.47㎡
- ・構造：鉄筋コンクリート造 コンクリート屋根地下1階付2階建
- ・用途地域：第一種住居地域
- ・建ぺい率：60%
- ・容積率：200%

8 改修概要

建物の基本機能はカフェスペース、コワーキングスペース、事務スペース、工房室とする。カフェスペースは誰でも気軽に人が訪れることができる雰囲気を作り、交流の場とする。コワーキングスペースは起業を目指す人、仕事をしたい人のためワークスペースを提供する。事務スペースは職員が常駐する部屋とし、地域連携の相談窓口や情報提供の機能を果たす。工房室は工作等の作業や印刷ができる部屋とする。その他、建物の活用について有効な案があれば提案を求める。

(1) カフェスペース

交流の場、ミーティングの場、図書閲覧の場として活用する。訪れた人が入りやすい空間、居心地の良いデザインと分かりやすい配置・導線の提案を求める。

- ・電気ポット（2L以上）を1台配置
- ・設置する備品の提案
- ・天井・床・壁の改修
- ・訪れた人が楽しめる空間の提案

(2) コワーキングスペース

仕事の間、起業支援の間、交流の間。快適に仕事ができる空間を提案

- ・シェアオフィスとして利用できるように10団体程度の書類等が保管できるパーソナルロッカー（鍵：有、12人分）の配置
- ・設置する備品の提案
- ・天井・床・壁の改修
- ・壁解体工事

(3) 事務スペース

職員業務スペース、地域連携の相談窓口、情報提供の間。

- ・パソコン2台（液晶：15.6インチ以上、CPU：Core i3以上、OS：Windows10）の配置

- ・プロジェクター（輝度：3000ルーメン以上、入力端子：HDMI・RCA・D-sub15Pin、持ち運び可能な重さ）、スクリーン（80インチ以上、自立可能であること）、冷蔵庫（定格内容積：130L以上、冷凍室：内臓、ドア数：2ドア以上）、電子レンジ（庫内容量：18L以上、最大レンジ出力：800W以上）を1台ずつ配置
- ・設置する備品の提案
- ・天井・床・壁の改修
- ・壁解体工事
- ・相談スペースの提案

（4）工房室

工作、印刷等の作業スペースの提供。

- ・設置する備品の提案
- ・作業スペースの提案
- ・壁解体工事

（5）その他

- ・エアコン更新工事
- ・玄関及び構内ガス管修繕
- ・その他にも建物調査を実施し、建物維持保全上必要となる改修工事があれば提案を求める

9 参考資料

- （1）位置図
- （2）設計基準書
- （3）建物平面図
- （4）大学パンフレット
- （5）建物現状写真
- （6）概要計画図

※以上の内容は設計業務委託の設計調整の中で変更する場合がある。